

【ジングルコーナー原稿89】

『天魔漫才 外伝』

作 … サイトウヤスナリ

○登場人物

サタン…

魔界を統べる大魔王。漫才に興味を持ち、人間界へやってきた。同じく漫才好きの大天使・ミカエルと意気投合し、二人で「天魔シスターズ」として活動している。ツツコミ担当。

ガブリエル…

天界を統べる大天使・ミカエルの妹。漫才の知識はないが、ミカエルが楽しそうに漫才をしている様子を見て、自分もやってみたいと興味を持つ。ミカエルが天界会議で漫才グランプリに出場できなくなってしまったため、穴を埋める形でサタンの相方を務めることになった。喜怒哀楽が激しい末っ子タイプ。

○タイトルコール

サタン 「続いてはジングルコーナーの時間やで！」

ガブリエル 「ガブちゃん大活躍の神回だよ〜ん！」

サタン 「お前、なにもんや！」

ガブリエル 「内緒〜。タイトルは「天魔漫才 外伝」で〜す！」

サタン 「はいどうも、サタンです」

ガブリエル 「ガブちゃんです」

2人 「（せーの）天魔シスターズです！」

サタン 「つて、ちよいまち！ ミカエルはどこいったん？」

ガブリエル 「お姉ちゃんは天界会議に参加してるからいないよ」

サタン 「なんやて！ というか、自分は何者やねんな」

ガブリエル 「アタシはガブリエル！ お姉ちゃんに代わってお邪魔してるよ！

実はさ、お姉ちゃんが漫才やってるの見て、

ちよつと興味あったんだよね！ ほら、漫才しよしよ！」

サタン 「ちよいまち、漫才いうんはな、そんな簡単なもんやない。

ボケにツッコミ、さらにボケてツッコむ。

まさに笑いの美学。笑いの原点にして、頂点なんや」

ガブリエル 「それならわかるよ！ ミラノ風ドリアに辛味チキン、

さらにマルゲリータと、ポップコーンシュリンプ、でしょ！」

サタン 「そうそう。まさに、毎日食べても飽きない美味しさの美学。

イタリアンの原点にして、頂点……つて、

それはサイゼリヤのことやないか！」

ガブリエル 「違ったか。あ、じゃあ、焼き肉に寿司、

さらにサラダとデザート！」

サタン 「うんうん。まさに、子どもから大人まで誰もが楽しめる

食の美学。バイキングレストランの原点にして、頂点……つて、

それはすたみな太郎のことやないか！」

ガブリエル 「うえゝこれも違うの？ んじゃあ、

ハンバーガーとコーラ、さらにポテトも一緒にいかがですか？」

サタン 「あ、じゃあポテトはLサイズでお願いします……って、

それはマクドナルドやないか！

あかんわガブリエル。自分、漫才のこと、なんもわかってへん」

ガブリエル 「そうだよね……どうせガブちゃんなんて、

笑いの知識も才能もない、

ただ顔面とスタイルが良いだけの天使って思われてるよね」

サタン 「なんやネガティブなんかポジティブなんか、

ようわからん奴やな……

いやいやガブリエル、そんなに凹まんでもええんねんで」

ガブリエル 「じゃあ、ガブちゃんの良いとこ言って」

サタン 「え？ ほぼ初対面なのに…… ほ、ほら。昔からよく言うやろ、

食べて寝る子はよく育つ、てな！」

ガブリエル 「おおっ！ 確かに！ じゃあガブちゃん寝るね！ おやすみ！」

サタン 「センターマイクを枕にして寝るな！ もうええわ！」

2人 「せーの」 どうも、ありがとうございます！」

○エンディング

ガブリエル 「竹内順子のTake a Chanceラジオ！」

サタン 「響ラジオステーションで好評配信中」

ガブリエル役、〇〇と、

サタン役、〇〇がお送りしました！